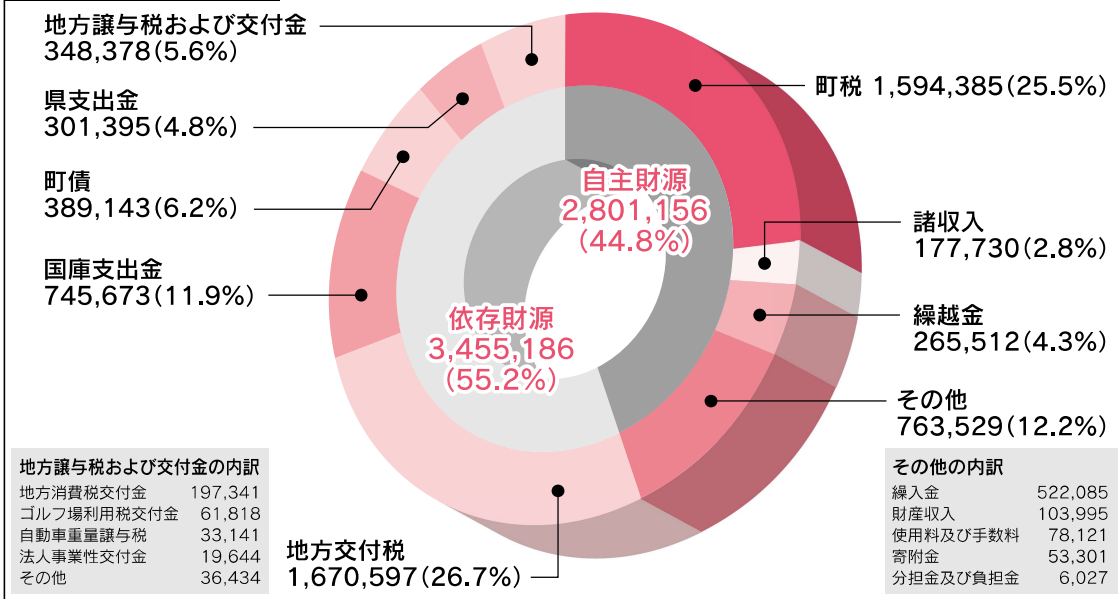


歳入 62億5,634万円

グラフ1 歳入内訳

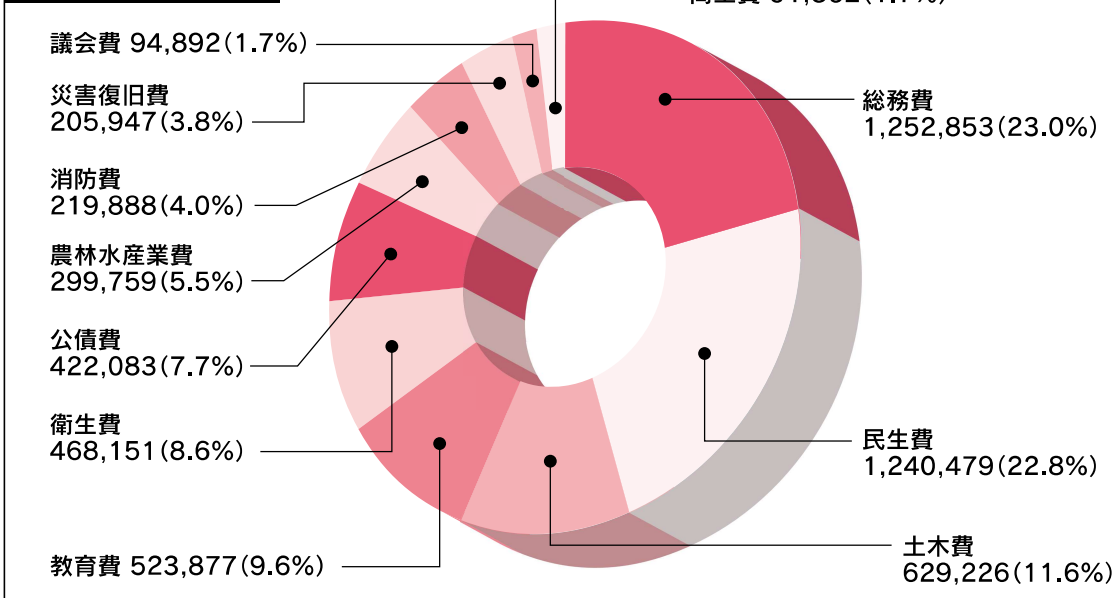
(単位：千円)



歳出 54億4,902万円

グラフ2 歳出内訳

(単位：千円)



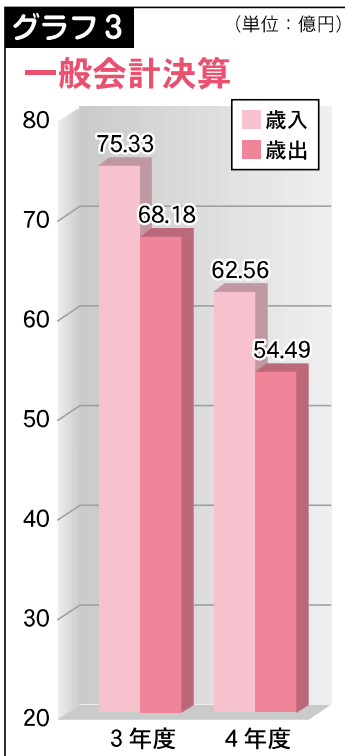
大郷町の決算概要

令和4年度の一般会計および各種特別会計の決算の概要をお知らせします。

令和4年度 of 主な事業 (単位：千円)

- 黒川地域行政事務組合関係経費 415,342
- 災害復旧関係経費 205,947
- 町営住宅建設事業 131,135
- 小・中学校外壁等修繕工事 93,060
- 多面的機能活動組織交付金 49,185
- 復興まちづくり事業 45,570
- 小・中学校スクールバス委託事業 42,254
- 住民バス事業 40,785
- 農業資材等高騰対策補助金 40,224
- 学校給食費助成金 30,411



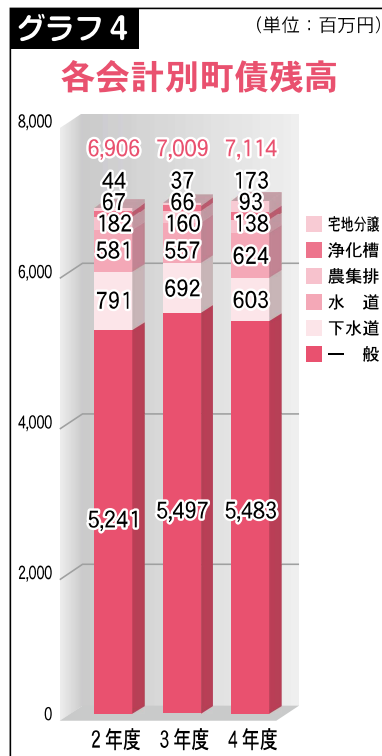
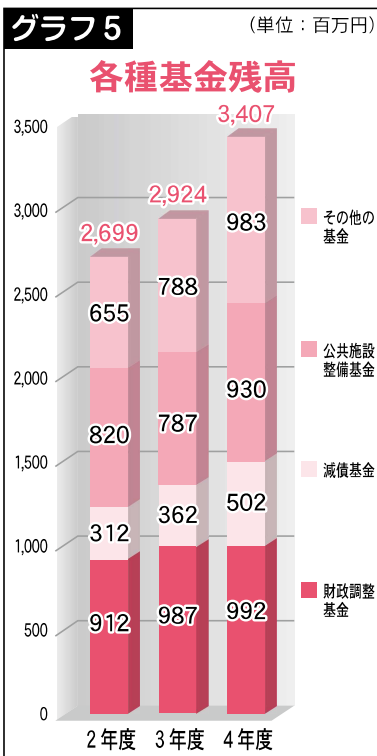


令和4年度の一般会計の決算概要は、右ページのグラフ1・2のとおりです。歳入から歳出を差し引いた剰余金は約8億7百万円で、そのうち年度内に事業が完了しなかったため翌年度に使うこととしたお金（繰越明許費約2億7千7百万円）と、基金への積立金（4億6千万円）を除いた翌年度への繰越額は、約7千1百万円になりました。

歳入歳出の令和3年度との対比は、グラフ3のとおりです。歳出全体では、前年度比で約13億6千9百万円の減となりました。内訳は、農林水産業費で、JAカントリエレベーター建設事業にかかる交付金が、前年度に事業が完了したことから、約5億2千4百万円減少し、また、令和元年東日本台風

の災害復旧工事も前年度に完了したこと、災害復旧費が約6億8千2百万円の減となったことなどにより、ます。歳入全体では、前年度比約12億7千7百万円の減となりました。内訳は、子育て世帯等臨時特別支援事業や、東日本台風災害の復旧工事が前年度で完了したことから、国庫支出金が約6億9千2百万円、県支出金も約5億7千4百万円の減となりました。また、町債では災害復旧事業債が約2億5千万円の減となりました。

また、諸収入ではボートピア大郷から約2千3百万円、オフト大郷から約1千3百万円が交付されました。町税収入を令和5年3月末の人口7,563人で計算しますと、町民一人当た



りでは約21万1千円で、これに対して町が使ったお金は同じく一人当たり約72万円になります。次に町債（町の借金）残高は、グラフ4のとおりです。令和4年度より過疎地域の指定を受けて、新たに過疎対策事業債の借入を行いました。令和4年度の返済額が借入額を上回ったため、一般会計の町債残高は昨年より約1千4百万円減

少し、約54億8千3百万円となり、町民一人当たりでは約72万5千円になりました。また、基金（町の貯金）残高はグラフ5のとおりです。各種特別会計等の決算状況は、表1及び表2をご覧ください。今後も財政健全化に向け、努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

表1 各種特別会計決算

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差し引き
国民健康保険特別会計	940,994	909,702	31,292
介護保険特別会計	1,123,285	1,065,935	57,350
後期高齢者医療特別会計	93,682	93,102	580
下水道事業特別会計	220,270	213,364	6,906
農業集落排水事業特別会計	57,421	54,082	3,339
戸別合併処理浄化槽特別会計	111,015	100,696	10,319
宅地分譲事業特別会計	257,511	236,340	21,171
計	2,804,178	2,673,221	130,957

表2 水道事業会計決算

(単位：千円)

区分	収入	支出	差し引き
収益的収支	250,760	235,301	15,459
資本的収支	167,400	231,121	△ 63,721

収益的収支：水道事業の経営状況

資本的収支：資産および資本の状況

※資本的収入が資本的支出に不足する額63,721千円は、過年度分損益勘定留保資金51,776千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額11,945千円で補てんしました。